

科目名称	日常生活援助技術Ⅱ (食事・清潔・排泄関連の援助技術)	学年学期	単位数	時間数
		1年前・後期		60
担当教員	上野理江	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

疾病や障害により自分自身で日常生活行動が行えない患者に対して、その人にとっての健康な状態を目指して自立を支援する援助を行うことが看護である。ここでは、衣生活に関する基礎的知識と援助技術、食事に関する基礎的知識と援助技術、排泄に関する基礎的知識と援助技術、清潔に関する基礎的知識と援助技術について授業展開する。

【2】 学習目標

- 1.衣服の機能及び衣生活の援助の基礎的知識、安全安楽な寝衣交換の援助技術を習得できる。
- 2.食事の意義や食事援助の基礎的知識、食事援助技術を習得することができる。
- 3.事例を通して食事・栄養アセスメントについて理解できる。
- 4.排泄の意義・メカニズム及び看護の役割について理解し、安全安楽な排泄の援助技術を習得することができる。
- 5.清潔の援助の意義を理解し、安全・安楽な全身、頭皮・頭髪、口腔等の清潔の援助技術を習得できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	衣生活の援助① 衣生活の援助の基礎知識	講義
2	衣生活の援助② 病衣交換の実際	学内実習
3	食事の援助① 食事援助の基礎知識	講義
4	食事の援助② 食事援助の原則	講義
5	食事の援助③ 食事援助の実際	学内実習
6	食事及び栄養アセスメント 事例検討①	グループワーク
7	食事及び栄養アセスメント 事例検討②	グループワーク
8	食事及び栄養アセスメント 事例検討③	グループ発表
9	排泄の援助① 排泄援助の基礎知識	講義
10	排泄の援助② 援助の種類と援助方法 便尿器・ポータブルトイレ	講義
11	排泄の援助③ 自然排泄が困難な患者への援助 ～おむつ交換～	講義
12	排泄の援助④ 自然排泄が困難な患者への援助 ～摘便・ストーマケア～	講義
13	排泄の援助⑤ 排泄の援助の実際 ～便尿器～	学内実習
14	排泄の援助⑥ 排泄の援助の実際 ～おむつ交換～	学内実習
15	清潔の援助① 清潔の援助とその目的	講義
16	清潔の援助② 全身の清潔 ～入浴・シャワー浴・陰部洗浄～	講義
17	清潔の援助③ 全身の清潔 ～全身清拭と熱布清拭～	講義
18	清潔の援助④ 洗髪	講義
19	清潔の援助⑤ 手浴・足浴	講義
20	清潔の援助⑥ 口腔の清潔	講義・学内実習
21	清潔の援助⑦ 学内実習前のグループ学習	グループワーク
22	清潔の援助⑧ 学内実習プレゼンテーション	グループ発表
23	全身清拭の実際①	学内実習
24	全身清拭の実際②	学内実習
25	洗髪の実際①	学内実習

26	洗髪の実際②	学内実習
27	手浴・足浴の実際①	学内実習
28	手浴・足浴の実際②	学内実習
29	臨地実習前演習①	学内実習
30	臨地実習前演習②	学内実習

【5】 評価方法

筆記試験

【6】 教科書

千葉 京子 他著「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」 第7版 メヂカルフレンド社 2025年
藤野彰子他 編著「看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年

【7】 参考書

適宜提示します。

【8】 受講生へのメッセージ

事前学習として、教科書の該当ページを読んで授業に臨みましょう。レポートは提出期限厳守です。